

兵庫県版

日本の息吹

第一九九号 平成三〇年(皇紀二六七八年)
 五月二二日発行 日本会議兵庫本部事務局
 六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一
 兵庫県神社庁内 (〇七八・三四一・一一四五)
<https://www.nipponkaigihyogo.org/>
 nipponkaigihyogo@gmail.com



四月下旬から五月上旬にかけて兵庫県下各地で「憲法フォーラム」が実施されました。今回は西脇市、神戸市、三田市での様子を中心に取り上げてみました。

『北播磨支部総会』

四月二十八日(土)、今日は主権回復の日。我々、北播磨支部の総会日と決めてから、五年目を迎えます。

一二時総会開会。藤本百男支部



長のご挨拶。続いて、藤井ひさゆき衆議院議員、安田正義加東市長、森脇保仁県議会日本会議連会長、内藤兵衛県議から来賓挨拶をいただきました。

来賓には、地元北播磨選出の藤原昭一(小野市)、大豊康臣(加西市)、村岡真夕子(三木市)の県議員、加東市、加西市、西脇市の市議会議員さん、末松信介、鴻池祥肇参議院議員の代理の方に

臨席いただいた。その後、総会議事を行い、三〇年度活動計画が決定した。講演までの三〇分間、「憲法フォーラム」の時間を設け、櫻井よし子氏のビデオメッセージを視聴した。

午後一時三〇分から記念講演会。講師の高橋史朗氏(麗澤大学特任教授・モロジー研究所教授)

は、「日本の教育を取り戻すー歴史戦をいかに戦うか」の演題で約九〇分間、自らの活動を紹介。アメリカでの南京大虐殺や慰安婦像など中韓が仕掛ける反日活動、

「歴史戦」が引き起こしている混乱や日本いじめの実態の酷さ、ユネスコの世界記憶遺産登録問題への対抗など、体験を通して話された。また、GHQの占領政策、WGIPと憲法の関係に触れながら、戦後教育の根っこにあるこうした日本弱体化政策の根深さを強調された。また、「人口戦」(河合雅司氏)に触れながら、戦後の人口減少、少子化対策についても

晩婚化、未婚化対策の必要性を述べられ、日本を取り戻すためには、まず親と子の関係、親自身の生き方、家族の絆、地域の絆を取り戻すことから始めることの大切さを語られた。約一二〇名の参加者の中には、涙ながらに聴く姿も見られました。(文責：北播磨支部運営委員長 河原 淳)

《 5月22日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 〇6月 2日(土)14時～ 中・西播磨支部学習会(姫路護國神社)
 - 〇6月17日(日)13時半～ 女性の会 教育講演会(生田神社会館 講師:葛城奈海先生)
 - 〇6月23日(土)14時～日本会議兵庫阪神北支部総会・講演会(宝塚南口会館 講師:浅野武司氏(海自))
 - 〇6月24日(日)14時～日本会議兵庫西宮芦屋支部総会講演会(廣田神社 講師:高橋忠義氏(元海将補))
 - 〇7月16日(月祝)13時半～兵庫県本部総会(姫路キャッスルホテル、講師:阿比留溜比先生)
 - 〇8月25日(土)午後 中・西播磨支部総会(姫路護国神社、講師:未定)
 - 〇9月 2日(日)午後 東播磨支部総会(グリーンヒルホテル明石、講師:未定)
 - 〇9月29日(土)16時～美しい日本の憲法をつくる兵庫県民の会(けんみんホール、講師:伊藤哲夫先生)
- 未定部分は、決定次第最新号でお知らせいたします。

《兵庫五区

国民投票連絡会議準備会》

四月二十九日、兵庫五区で憲法フォーラムを開催。主催は兵庫県第五区国民投票連絡会議準備会。北は湯村温泉、香住から南は川西まで、五区内全域から七四名のご参加をいただきました。特筆すべ

きは参加者の日本会議比率が割きという事です。会の名前だけが変わり出席者がいつものメンバーという運営ではなく、自民党の支部とタイアップし、来るべき国民投票に向けた選挙区内の組織づくりを最優先に考えての開催でした。結果、講師の衆議院議員 谷公一先生はじめ、兵庫五区内八市の地方議員の先生方



一二名で、内三名は市議会議長の先生でした。隊友会や自衛隊家族会の方のご参加もあり、今後の活動に繋がる意味のあるフォーラムになりました。また、新作自衛隊のDVDも大変好評で、自衛隊家族会からの購入希望を早々に頂戴しました。今後、このDVDの上映活動を選挙区内で展開して参ります。そして自衛隊の憲法明記の必要性をわかりやすく浸透

させて行きたいと思えます。

《兵庫一、二、三、四区

国民投票連絡会議準備会》



美しい日本の憲法をつくる兵庫県民の会神戸地区 垣田宗彦代表（湊川神社宮司）よりのご挨拶がありました。

その後、出席の国会議員を代表



して盛山正仁代議士より、県議会議員を代表して加田裕之県議より、神戸市会議員を代表して守屋隆司議員より「誇りある日本にふさわしい憲法改正を成し遂げるためには、衆・参両院それぞれの三分の二以上の改憲勢力がある今しかありません。東アジア情勢をはじめ国際情勢が厳しい今、“自分の国は自分で守る”との意思を国内外に示すためにも、国民投票を見据えた更なる行動が必要」との趣旨の提言を頂きました。これに対し、会場からは多くの激励・質問などが寄せられました。